



櫛の梢から

こずえ
けやき



変えうるところを変え、変え得ないところは受け入れる ～ペアレント(ティーチャーズ)・トレーニングから学ぶ～

「けやき共育」事業の一環として、保護者(ペアレント)、教育に関わる人(ティーチャーズ)を対象とした研修会を開催しました。8月末からスタートし、全4回でひとまとめとなるカリキュラムにも関わらず、どちらの研修会も受講定員を上回る参加希望がありました。紫波町にあるNPO法人「紫波さぶり」から二人の講師を迎え、毎回和やかな雰囲気、楽しく学ぶことができました。ペアレント・トレーニングとはもともと、特性を持った子どもの保護者向け訓練プログラムですが、今回の研修では特性を持つ持たないに関わらず、どの子どもに対しても親(または教員や支援者)が子どもの持つ行動の特徴を理解し、お互いがよりよいコミュニケーションが取れるようになることを目的としています。人は誰でも人から注目されたい、褒められたい、認められたいと考えます。子どもであればなおさらです。良い行動を褒めたり、認めたりすることで、その行動が増え、一方で問題行動が減っていくことを目指していきます。研修の中では、研修者が子ども役と大人の役にそれぞれ演じる時間を設け、子どもがどう感じるかの体験もしました。子育てや支援に正解はありません。「変えうるところを変え、変え得ないところは受け入れる」。この言葉は研修の中でお話しされたものですが、子どもだけではなく大人でも、相手が変わらない変えられないことを受け入れることで楽になることもあるのではないのでしょうか。来年度も開催を予定しています。興味を持った人はぜひご参加ください。



参加者の感想

ペアトレ参加者 親も成功体験を積むことで「これで大丈夫」とか、「これはとてりあえず『待つ』でいいかな」とぶれずに考えられるようになり、頑張れる気がしました。この研修で自分自身が楽になりました。

ティートレ参加者 支援者が心に余裕を持って接することが、子どもに伝わり、良い関係の相互作用が起きることをロールプレイングや宿題を通して実感することができました。

映画「みんなの学校」上映会に来てみませんか

町は今年度、不登校支援を重点として取り組んでいますが、そのヒントとなるような取り組みをしている学校があります。それが映画「みんなの学校」の題材となっている、大阪市立大空小学校です。「誰一人取り残さない」を目指し、この学校では子どもたちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉えています。映画では日々生まれ変わるように育っていく子どもたちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者の苦悩、戸惑い。そして喜び。その全てを微妙な近さから、ありのままに映しています。そもそも学びとは?そしてあるべき公教育の姿とは?皆さんもこの映画で「学校参観」をしてみませんか。たくさんのご来場をお待ちしています。



「みんなの学校」映画上映会 (入場無料)

【日時】 12月25日(月) 18:00～(開場 17:30)

【場所】 おしゃっち 多目的ホール

問い合わせ先 大槌町教育委員会 学務課 ☎ 42-6100 (9:00～17:00)

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします!



大槌高校HPやnoteでも
学校生活の様子を
発信しています!

大槌発! 未来塾を開催しました!

10月10日(火)に大槌発! 未来塾を1年生～2年生対象に実施しました。町内外でさまざまな「探究」を日々行っている10名のゲストをお招きし、それぞれのチャレンジについて聞かせていただきました。普段なかなか聞くことができない貴重なお話から、自分のマイプロジェクトやこれからの将来について考える良い機会となりました。ご協力いただいたゲストの皆さま、本当にありがとうございました。



大高生の感想(一部)

- 私は、子どもたちとその保護者、地域の人についてのマイプロを考えていました。お話を聞いて、まず興味を持ちいくつかの視点をもつことが大切だとわかりました。これから、人と人の繋がりを楽しみながら、自分の住む地域と向き会いたいです。
- 困ったときや苦しいときは、別の視点から見ることは大切だと思いました。探究することは難しいけど、その分小さな幸せが増えて大きな幸せが増えていくなと思いました。今の状況に満足せず、何事にも挑戦し、失敗するを繰り返していきたいと思いました。
- 世界の問題は自分には関係ないと思っていました。でも、一人ひとりが全てに関わっているそして世界と地域は繋がっているという言葉から自分一人の幸せを望むよりも世界の幸せを望むことが大切だとわかりました。身近な問題を探究することで地域から世界につながりそして、次の問題へと決まってくると知ることができて良かったです。ありがとうございました。
- 大槌町の道路など当時ワークショップに参加した人たちの思いや考えが町の形をつくっていることを初めて知りました。話を聞いて印象に残ったのは当たり前は素晴らしいものだ気づかされたという言葉です。震災を経験したからこそ感じられることだと思ったし、自分もこれから当たり前を大切にしながら生活しようと思いました。
- 探究とは自分をアップデートしていく上で大切なことであり、日々の小さなことでも探究していくことが大切ということがわかった。

輝く大高生



10月8日(日)産業まつりで、新おおつち漁協女性部と大槌サーモンのさっぱりヘルシー鍋のお振舞を行いました。

参加した藤社雅乃さんに感想を聞いてみました。「地域の人たちと直接触れ合うことができ、本当に楽しい時間を過ごせました。新おおつち漁協女性部の皆さんともお話ができたことも良かったです。地域にでて、直接顔を合わせていろんな人と関わる経験をこれからもしていきたいです。」